

山口県感染症発生週報

(第19週:2019年5月6日～5月12日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

・**結核**:第18週追加 1例(防府)、第19週 8例(下関1例、岩国1例、周南2例、山口1例、宇部3例)

【3感染症】

・**腸管出血性大腸菌感染症**:1例(周南)

【4感染症】

・**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**:1例(柳井)

【5類感染症】

・**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**:1例(周南)

・**侵襲性インフルエンザ菌感染症**:1例(山口)

・**侵襲性肺炎球菌感染症**:1例(山口)

・**梅毒**:第18週追加 1例(下関)、第19週 1例(宇部)

・**百日咳**:第17週追加 3例(岩国)、第18週追加 3例(岩国)、第19週 4例(岩国1例、周南3例)

咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。予防接種の対象者で、まだ接種をしていないお子様は早めに接種を行ってください。



フタトゲチマダニ
(SFTSウイルス等を媒介する)

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

・**インフルエンザ**:県全体の定点あたり報告数は流行期の目安である1.0を下回りました(第18週)。県内各地で発生が散発していますので、引き続き注意が必要です。迅速検査診断結果でA型陽性が36例、B型陽性が6例、臨床診断・型不明が2例ありました。

・**RSウイルス感染症**:下関、宇部で発生が多い状況です。

・**流行性角結膜炎**:柳井で警報レベルが続いています。[警報レベル:柳井(2週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	17週	18週	19週	疾患名	17週	18週	19週
インフルエンザ	145	28	29	ヘルパンギーナ	8	5	3
RSウイルス感染症	78	20	30	流行性耳下腺炎	5	0	0
咽頭結膜熱	20	8	24	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	91	26	66	流行性角結膜炎	1	8	6
感染性胃腸炎	347	109	151	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	8	7	11	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	15	8	17	マイコプラズマ肺炎	3	2	5
伝染性紅斑	25	8	28	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	31	9	14	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	1	2

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	11	1	4	0	5	6	1	1	0	29
RSウイルス感染症	10	0	0	1	1	2	16	0	0	30
咽頭結膜熱	5	4	0	3	5	5	1	0	1	24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	5	1	6	7	12	10	0	1	66
感染性胃腸炎	36	7	6	48	8	18	20	0	8	151
水痘	3	0	0	5	0	1	2	0	0	11
手足口病	1	0	1	0	2	4	8	1	0	17
伝染性紅斑	3	0	0	2	1	4	15	2	1	28
突発性発しん	3	1	0	2	1	5	2	0	0	14
ヘルパンギーナ	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	4	0	1	1	0	0	0	6
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	2	0	0	0	0	2	1	0	5
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2

3 感染症発生動向調査における病原体検出情報

・**インフルエンザ**:インフルエンザウイルスA/H3亜型(検体採取週 第17週)、インフルエンザウイルスB/Vic(検体採取週 第16、17週)が検出されました。

・**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**:重症熱性血小板減少症候群ウイルス(検体採取週 第18週)が検出されました。

・**A型肝炎**:A型肝炎ウイルスIA(検体採取週 第17週)が検出されました。

・**ヒトパルボウイルスB19**(検体採取週 第19週)が検出されました。